「明治産業革命遺産の展示を問う！」シンポジウム

2021年5月22日（土）14:00～16:00

zoomにて開催　　参加費　無料

（カンパ歓迎！送金先：[郵便振替口座] 00930－9－297182 真相究明ネット）

2015 年の「明治産業革命遺産」の世界遺産登録時の日本政府の「公約」に基づき設置された「産業遺産情報センター」が昨年 6 月に開館しました。しかしその展示は明治産業革命遺産が対象とする期間外も含めた「全体の歴史」を説明するものとなっていません。とりわけゾーン３「資料室」は端島（軍艦島）元島民の写真・インタビューが中心を占めるものとなり、強制労働を否定する展示となっています。「明治産業革命遺産」が取り上げる製鉄・製鋼、造船、石炭産業の労働現場では、強制動員が行われた時期だけでなく、その産業発展を支えた労働は過酷なものでした。このような産業発展での労働者の状態や朝鮮人、中国人、連合軍捕虜への強制労働の実態などを明らかにし、正しく後世に伝えることが大切です。そうすることで「明治産業革命遺産」はユネスコの世界遺産として真に普遍的価値を持つことになります。今回のシンポジウムではそのことを明らかにしたいと考えています。

申込みはこちらから⇒　https://forms.gle/oXQWhb72UJ7ZcV3W7　**ＱＲコード**

申込みについての問合わせは⇒　shinsoukyumei@gmail.com　**まで**

＜プログラム＞

「明治産業革命遺産をめぐるこの間の経過」
　　ー強制動員真相究明ネットワーク事務局長　中田光信

「韓国の被害証言について」
　　ー　韓国民族問題研究所責任研究員　金丞垠（キムスンウン）

「長崎の中国人強制動員について」
　　ー　長崎の中国人強制連行裁判を支援する会・事務局長　新海智広

「九州における連合軍捕虜の強制動員について」
　　ーＰＯＷ研究会共同代表　笹本妙子

「産業遺産情報センターの問題点と対応方案」
　　ーユネスコ韓国委員会　全鎮晟（チョンジンソン）

討論者（コメンテーター）
　竹内康人（強制動員真相究明ネットワーク会員）
　金英丸（キムヨンファン）（韓国民族問題研究所対外協力室長）
　庵逧由香（強制動員真相究明ネットワーク共同代表）

主　催　強制動員真相究明ネットワーク
ホームページ：http://www.ksyc.jp/sinsou-net/　mail　mitsunobu100@hotmail.com 携帯　090-8482-9725